

事業

1 平成22年度事業報告

一般会計事業

117,755,084 円

1 文化事業 15,902,580 円

事務局事業

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 8,049,405 円

ミニライブコンサート (219,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (1,000,315)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図った。

・第9回にいがた総おどり祭(下駄総踊り)

主 催 新潟総踊り祭実行委員会ほかとの共催

開催日 平成22年9月18日～20日 3日間

場 所 万代シティ、駅南けやき通りほか

来場者 320,000人

文化講演会 (525,515)

著名な文芸作家を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成22年11月23日

場 所 市民プラザ

講 師 荒俣 宏

演 題 「創作のインスピレーション」

入場者 350人

坂口安吾顕彰事業 (6,304,575)

新潟市が管理する安吾 風の館(旧市長公舎)で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関連資料の調査研究を行った。

・「濱谷浩の眼 安吾の思い」展

開催日 平成22年4月4日～平成22年6月6日(新潟編)

平成22年6月12日～平成22年8月15日(桐生編)

内 容 安吾と親しかった、その人がもつ雰囲気まで写し撮るという濱谷浩の写真を中心に、安吾の思いを遺品資料や作品等で紹介した。

入場者 新潟編：1,395人 桐生編：1,337人

・「第1回旅 安吾新日本風土記」展

開催日 平成22年8月24日～平成22年12月12日

内容 急逝のため途絶した『安吾新日本風土記』のための取材旅行をとりあげ、安吾が何をどう見たのかを作品やその際に撮られた写真、集めた資料などから紹介した。

入場者 2,205人

・「安吾によせる思い - 安吾忌 - 」展

開催日 平成22年12月21日～平成23年3月21日

内容 妻三千代が参加した第40回までの安吾忌を通し、そこに集う人々の思いから安吾の人物像を紹介した。

入場者 1,423人

(2) 共催・協賛事業 3,571,575円

共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

・第58回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成22年10月3日～12月12日 入場者 14,540人

・第42回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成22年11月3日～11月7日 / 後期：平成22年11月10日～11月14日

入場者 6,279人

・第24回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

開催日 平成22年9月5日 入場者 250人

協賛事業

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をした。

・ナント市「日本フェア」(日本舞踊「市山流」による上演) (320,000)

開催日 平成22年10月8日・9日 入場者 1,000人

・新潟県音楽コンクール45回記念コンサート「交流のつばさ」 (100,000)

開催日 平成22年10月22日 入場者 330人

(3) 表彰顕彰事業 114,730円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

・新潟市美術展 6部門

・アークベル県民アマチュア絵画展 2部門

・全国水墨画美術展 1部門

・光風会新潟支部展 1部門

・二科新潟展 1部門

・新潟県工芸会展 1部門

(4) 支援助成事業 4,166,870 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限30万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成22年度 上 期	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	14 件	11 件	2,035,000 円
平成22年度 下 期	平成22年10月1日から 平成23年3月31日まで	12 件	10 件	2,060,000 円
合 計		26 件	21 件	4,095,000 円

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 101,852,504 円

音楽文化会館管理事業

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成10年度より当財団がその管理を受託している。

平成22年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

ホールの管理

練習室(13室)の管理

平成22年度音楽文化会館利用者数 181,550 人

3 会議の開催状況

(1) 理事会

第1回 平成22年5月27日

- ・平成21年度歴史博物館会計補正予算
- ・平成21年度事業報告、収支決算
- ・公益法人認定のための最初の評議員の選任方法

第2回 平成22年7月29日【書面】

- ・評議員の選任

第3回 平成23年3月25日

- ・平成23年度事業計画、収支予算
- ・規程、規則の一部改正(給与規程、処務規程、育児休業等規程、職員就業規則、嘱託職員

- 就業規則、臨時職員就業規則)
- ・評議員の選任(任期満了)
- ・理事長の互選
- ・専務理事の選任
- ・最初の評議員選定委員会委員の選任

(2) 評議員会

第1回 平成22年5月27日

- ・役員を選任
- ・平成21年度歴史博物館会計補正予算(報告)
- ・平成21年度事業報告、収支決算(報告)
- ・公益法人認定のための最初の評議員の選任方法(報告)

第2回 平成22年7月29日【書面】

- ・役員を選任

第3回 平成23年3月25日

- ・平成23年度事業計画、収支予算
- ・役員を選任(任期満了)
- ・規程、規則の一部改正(給与規程、処務規程、育児休業等規程、職員就業規則、嘱託職員就業規則、臨時職員就業規則)(報告)
- ・最初の評議員選定委員会委員の選任(報告)

1 文化事業(指定管理事業) 413,400,147 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館など諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点として、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図った。

(1) 音楽事業 143,915,503 円

東京交響楽団との提携による上質で幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい世界水準の演奏家招聘やオルガン、オペラ・コンサートなどの音楽愛好者拡大のための演奏会、さらには音楽文化会館でのコンサートなど、多様な鑑賞の機会を提供することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

特に、平成 21 年度のハイドン没後 200 年を記念して開始した作曲家ツィクルスを継続し、22 年度はハイドンに続く音楽史上の巨匠モーツァルトをテーマに「りゅーとぴあモーツァルト・ツィクルス」()を開催し、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし幅広い聴衆の拡大を図った。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

鑑賞事業 (111,188,768)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 59 回	平成 22 年 5 月 9 日(日)	～オール邦人作品プログラム～
第 60 回	7 月 10 日(土)	～ブルックナー：テ・デウム～
第 61 回	9 月 5 日(日)	～ショスタコーヴィチ：交響曲第 1 番～
第 62 回	11 月 7 日(日)	～ベートーヴェン：交響曲第 4 番～
第 63 回	平成 23 年 2 月 27 日(日)	～スタンフォード：交響曲第 3 番～
第 64 回	3 月 13 日(日)	～モーツァルト：交響曲第 41 番～

〔 公演中止(代替公演を同一曲目で平成 23 年 4 月 10 日に実施) 〕

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～ 5 回公演 平成 22 年 11 月 9 日(火)・10 日(水)

東京交響楽団団員による学校訪問演奏 24 小学校 平成 22 年 10 月 19 日(火)・20 日(水)

・特割コンサート

平成 22 年 11 月 10 日(水)

東響定期+

茂木大輔のオーケストラコンサート No.6

平成 22 年 11 月 28 日(日)

- ジュエリー・オーケストラシリーズ -

・シリーズ No.4

平成 22 年 9 月 公演中止

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

- ・シリーズ 22 クリスチャン・ツイメルマン 平成 22 年 6 月 6 日(日)
- シリーズ 23 平井千絵 平成 23 年 2 月 5 日(土)

- 歌の花束シリーズ -

- ・シリーズ 18 米良美一のにほんのうた 平成 22 年 10 月 9 日(土)

- カルテットシリーズ -

- シリーズ 20~22 クアルテット・エクセルシオ 平成 23 年 1 月 18 日 スタジオA
- ~ モーツァルト弦楽四重奏曲連続演奏会 平成 23 年 2 月 22 日 スタジオA
- 平成 23 年 3 月 2 日 スタジオA

- オルガンシリーズ -

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.10 「10 回記念」 平成 22 年 9 月 25 日(土)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.11 平成 23 年 3 月 12 日(土)
- C. マントゥーオルガン・リサイタル&マスタークラス 平成 23 年 2 月 23 日(水)・24 日(木)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 平成 22 年 12 月 18 日(土)
- ・石丸由佳オルガン・リサイタル 平成 23 年 2 月 13 日(日)

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -

- りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2011 平成 23 年 3 月 6 日(日)
- ~ 幸田浩子 & 林美智子の極上のモーツァルト

- ホール体験事業 -

- ・1 コインコンサート
- Vol.45 「声楽」 平成 22 年 4 月 7 日(水)
- Vol.46 「ヴァイオリン」 平成 22 年 5 月 28 日(金)
- Vol.47 「オルガン」 平成 22 年 6 月 25 日(火)
- Vol.48 「ギター」 平成 22 年 9 月 17 日(金)
- Vol.49 「フルート」 平成 22 年 10 月 8 日(金)
- Vol.50 「ピアノ」 平成 22 年 12 月 2 日(木)
- ・プライム・クラシック 1500
- Vol.7 「ヴァイオリン & ピアノ」 平成 22 年 5 月 28 日(金)
- Vol.8 「ピアノ」 平成 22 年 12 月 2 日(木)
- ・りゅーとぴあランチタイム・ガラコンサート 平成 22 年 9 月 8 日(水)

- その他 -

- ・カルテット・スピリタス スペシャルコンサート 平成 22 年 9 月 8 日(水)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 23 年 1 月 16 日(日)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」 平成 23 年 1 月 16 日(日)
- ・バーデン市劇場 歌劇《ラ・ボエーム》 平成 22 年 9 月 12 日(日)

- ・ ロンドン交響楽団 平成 22 年 11 月 27 日(土)
- ・ 榎本大進 & コンスタンチン・リフシツツ 平成 22 年 12 月 7 日(火)
- ・ 佐渡裕指揮 B B C フィルハーモニー 平成 23 年 3 月 15 日(火) 公演中止

育成・普及事業 (32,726,735)

- オルガン事業 -

・ オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース

基礎講座

ジュニアコース

大オルガン使用の半年コース

一般コース

大オルガン使用の1年コース

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース

オルガン・サマーデイズ

平成 22 年 8 月 3 日(火)・4 日(水)

ニューイヤー・オルガンスペシャル

平成 23 年 1 月 15 日(土)

オルガン音楽隊

平成 22 年 6 月 24 日(木)葛塚小

平成 22 年 12 月 10 日(金)臨港病院

- ジュニア等育成事業 -

・ にいがた東響コーラス

平成 22 年 4 月 ~ 平成 22 年 7 月

・ ジュニアオーケストラ教室育成事業

第 29 回定期演奏会

平成 22 年 9 月 19 日(日)

クリスマス演奏会

平成 22 年 12 月 23 日(木)音文

・ ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2010

平成 22 年 8 月 20 日(金) ~ 22 日(日)

・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ ジュニア合唱団育成事業

第 20 回定期演奏会

平成 22 年 7 月 18 日(日)

新潟県少年少女合唱団合同演奏会

平成 22 年 8 月 21 日(土)見附

ラ・フォル・ジュルネ

平成 22 年 5 月 1 日(土)

骨髄移植推進財団イベント

平成 22 年 9 月 12 日(日)市民プラザ

新潟市中央区社協まつり

平成 22 年 10 月 31 日(日)福祉会館

関屋小学校 P T A イベント

平成 22 年 11 月 7 日(日)関屋小

オルガン音楽隊コンサート

平成 22 年 12 月 10 日(金) 臨港病院

朝日酒造クリスマスコンサート

平成 22 年 12 月 11 日(土)朝日酒造

・ ジュニア邦楽教室育成事業

第 15 回定期演奏会

平成 22 年 8 月 1 日(日)音文

中国(齊南)子どもフェスティバル参加演奏

平成 22 年 7 月 2 日(金) ~ 7 日(水)

A P E C 閣僚夕食会演奏

平成 22 年 10 月 16 日(土)

関屋小学校区コミュニティ協議会新年お楽しみ会

平成 23 年 1 月 16 日(日)

・ジュニア音楽教室第7回スプリングコンサート 平成23年3月27日(日)

- その他 -

・市民音楽講座 通年

・コンサートホール企画連絡会議 通年

(2) 演劇事業 68,244,254 円

多様な専門機能を持つ「劇場」と伝統様式の「能楽堂」を活用し、劇場プロデュース系や小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指した。また、演劇スタジオ APRICOT やプレ・シアタートークを通して優れた演劇創造に携わる人材を育て、また演劇愛好者の拡大を図った。

また、本年度から新潟の地元劇団が参加する『第一回芸術のミナト 新潟演劇祭』を開催し、地域の舞台芸術の人材との新しい接点、交流を育む事業を実施した。

鑑賞事業 (58,348,075)

- ・森山未来「カフカの「変身」」1回公演 平成22年4月13日(火)
- ・「第二十二回ふるまち新潟をどり」2回公演 平成22年6月20日(日)
- ・「ナンシー」1回公演 平成22年6月21日(月)
- ・大衆芸能シリーズ「壱式参之笑」1回公演 平成22年8月2日(月)
- ・ナイロン100「2番目、或いは3番目」2回公演 平成22年8月4日(水)・5日(木)
- ・ホメロス「イリアス」1回公演 平成22年9月25日(土)
- ・「春風亭小朝独演会」(共催事業)1回公演 平成22年10月1日(金)
- ・白石加代子「百物語」1回公演 平成23年1月25日(火)
- ・大衆芸能シリーズ「柳亭市馬独演会」1回公演 平成23年2月5日(土)
- ・ミュージカル「アンナ・カレーニナ」(共催事業)1回公演 平成23年2月11日(金)
- ・新潟演劇祭プレ公演「流れ姉妹」2回公演 平成23年2月26日(土)・27日(日)
- ・第一回芸術のミナト 新潟演劇祭 18回公演 平成23年3月12日(土)~21日(月・祝)

【地震の影響で公演2回を中止】

育成・普及事業 (9,896,179)

- ・演劇スタジオ APRICOT 夏季公演「恋ものがたり」3回公演 平成22年8月15日(日)・16日(月)
- ・演劇スタジオ APRICOT 春季公演「ホンゴル」~愛しきもの 2回公演 平成23年3月27日(日)
- ・プレ・シアタートーク「ナイロン100」1回 平成22年7月13日(火)
- ・プレ・シアタートーク「文楽楽々」3回 平成23年2月6日(日)・20日(日)・3月6日(日)

(3) 能楽事業 33,071,018 円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催した。また、能楽普及の新しい試みとして小・中学校へのアウトリーチで能楽ワークショップ(囃子、狂言)を開催した。

鑑賞事業 (29,761,213)

- ・春の能楽鑑賞会(宝生流)2回公演 平成22年4月10日(土)

- ・秋の能楽鑑賞会（観世流）2回公演 平成22年10月30日（土）
- ・「野村万作・萬斎古典狂言公演」3回公演 平成22年5月21日（金）・22日（土）
- ・「りゅーとぴあ劇場狂言」1回公演 平成22年12月8日（水）
- ・能楽基礎講座特別版スペシャル公演「雪見能」1回公演 平成23年2月12日（土）

育成・普及事業（3,309,805）

- ・能楽基礎講座 特別版 3回 平成22年7月15日(木)、9月5日(日)、12月11日(土)
- ・能楽基礎講座(山崎講座)1回 【地震のため中止】 平成23年3月12日（土）
- ・観世流能楽鑑賞教室(共催事業)1回公演 平成22年9月25日（日）
- ・能楽ワークショップ（囃子）[二葉中、入船小、りゅーとぴあ(親子対象)] 平成22年6月4日（土）・5日（日）
- ・能楽ワークショップ（狂言）[りゅーとぴあ(親子対象)、亀田西小] 平成23年1月23日（日）・24日（月）
- ・「さわってみよう能の世界」1回公演 平成23年3月30日（水）

(4) 新潟発創造事業 124,291,680円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信した。

りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」は、アイスランド火山噴火でルーマニア及びフランス公演を中止したが、ポーランドの国際シェイクスピア・フェスティバルからの招聘により海外公演を実施し、帰国ののち、新潟で凱旋公演を実施した。

レジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismは、Noism1とNoism2による初の合同公演を実施したほか、朝日舞台芸術賞受賞記念・キリンダンスサポート公演として見世物小屋シリーズ第1弾「Nameless Hands～人形の家」の再演を新潟、愛知、高知、横浜で実施した。

また、海外公演では12月にヨーロッパデビューとなるフランス・パリ公演を実施した。

研修生カンパニーNoism2は2回目となる定期公演を実施し、23年度の県内公演に向けたレパートリー作品を充実させた。

- ・りゅーとぴあ 能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」2010 インターナショナル版
 - ポーランド・グダンスク公演 2回公演 平成22年8月7日(土)・8日(日)
 - 新潟凱旋公演 2回公演 平成22年9月10日(金)・11日(土)

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

Noism1 & Noism2 合同公演 劇的舞踊「ホフマン物語」(第13作公演)

平成22年7月16日(金)～18日(日)

見世物小屋シリーズ第1弾 Noism1「Nameless Hands～人形の家」(再演)

新潟公演 平成22年11月5日(金)、6日(土)、7日(日)、10日(水)、11日(木)
13日(土)、14日(日)、15日(月)

愛知公演 平成23年2月2日(水)・3日(木)

高知公演 平成23年2月12日(土)

横浜公演 平成23年2月16日(水)

フランス公演「NINA-物質化する生け贄(ver.black)」

平成22年12月2日(木)～4日(土)

Noism2 春の定期公演

平成23年2月25日(金)～27日(日)

Noism ワークショップ

こどものためのからだ WS 平成 22 年 4 月 25 日(日)

Noism バレエ 平成 22 年 4 月 25 日(日)

大人のためのからだ WS 平成 22 年 4 月 25 日(日)

Noism こどものためのからだワークショップ(新潟市山の下小学校受託事業)
平成 22 年 5 月 7 日(金)

Noism こどものためのからだワークショップ(ビュー福島潟主催)
平成 22 年 10 月 2 日(土)

Noism 大人のためのからだワークショップ(ビュー福島潟主催)
平成 22 年 10 月 2 日(土)

Noism バレエ(財団法人新潟県文化振興財団受託事業)
見附市文化ホール(アルカディア小ホール) 平成 23 年 1 月 22 日(土)

(5) 共催事業 220 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

クラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2010」では、新潟市などで構成する実行委員会に参加し、主催事業と連携を取りながら広範な集客を図った。

- ・第 58 回新潟市芸能まつり 平成 22 年 10 月～11 月音文ほか
- ・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 平成 23 年 1 月 9 日(日)
- ・「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2010」 平成 22 年 4 月 30 日(金)・5 月 1 日(土)

(6) 広報営業事業 19,863,341 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図った。

また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図った。

- ・広報・営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 846,772 円

次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査した。

(8) 事業企画諸費 11,146,627 円

音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施した。また、専属オルガニストを引き続き設置した。

- ・芸術監督(音楽部門・演劇部門・舞踊部門)
- ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費 12,020,732 円

事業実施に係る管理諸経費(託児サービス、チケットシステム、北代、研修、郵便料金、他)

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 582,953,104 円

市民芸術文化会館管理事業

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 22 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

3 付帯事業 41,972,817 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

平成22年度市民芸術文化会館入館者数 347,507 人

1 文化事業(指定管理事業) 20,872,158 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 4,008 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、近世の展示コーナー3か所を展示替えした。

(2) 企画展示事業 10,289,749 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を3本開催し、また、23年度開催予定の企画展示の準備業務を行った。

「砂丘物語」原画展 (3,037,347)

三芳悌吉『砂丘物語』の原画を大正期新潟市の社会情勢等の解説を交えて展示した。また、写真資料や様々な民具をあわせて展示して、原画が表す大正期新潟市の生活文化を具体的に紹介した。関連イベントとして、外部講師による講演会のほか、『砂丘物語』の読書会・探訪会、子供を対象とする口ウセキで地面に絵を描くイベント等を開催した。

開催期間 平成22年4月24日～6月13日 44日間

観覧者数 3,116人(うち有料観覧者 1,952人、無料観覧者 1,164人)

「海峡を越えて - 佐渡と新潟」 (3,973,712)

新潟と佐渡との流通・交通関係や佐渡観光の展開を示す資料を主に展示し、近代以降、開港や佐渡鉱山の変化などによって佐渡と新潟の関係や佐渡島内の地域編成が変化したこと、観光が産業として位置づけられたことを示した。関連イベントとしては、外部講師を招いたミニシンポジウムを実施した。また、佐渡の博物館をめぐる関連ツアーを予定したが、佐渡汽船の故障により中止した。

開催期間 平成22年7月17日～8月29日 39日間

観覧者数 2,754人(うち有料観覧者 1,839人、無料観覧者 915人)

むかしのくらし展「お店やさん」 (2,160,880)

昭和初期から昭和30年代、日用品を購入する主要な場所であった近所の小売店であるお店やさんの売り方や買い方、店舗形態などについて展示し、現在のスーパーマーケットなどとの違いとくらしの変化を紹介した。関連イベントとして、博物館周辺のお店やさんめぐり、秤を使って売り買いをする「お店やさんごっこ」などを実施した。

開催期間 平成22年9月11日～12月5日 72日間

観覧者数 17,460人(無料観覧者)

その他 (1,117,810)

平成23年度に開催する企画展「新潟美人展」の印刷物作成ほかの準備を行った。

(3) 教育普及事業 1,427,079 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムや茶の間の押入スペースを使った展示(展示替え4回/年)を行なった。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うことで対応した。また、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座を開講するとともに、大学生の実習を受入れ講義指導を行った。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広い年齢層や個別のニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

博物館講座 全8回、体験講座 全2回、くらし体験講座 全3回、

くずし字解読入門講座 全5回、館長講座 全4回、夏休みこども講座 全2回など

ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、活動を支援した。そのほか、みなとびあフェスティバルや写生会などボランティア主催の自主企画などを実施した。

(4) 施設普及事業 2,341,172 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

活動展示 2010「ひきだす」の開催

収蔵資料を中心にした資料群から博物館の調査研究の方法や現状を紹介し、博物館の活動を紹介するとともに、“モノ”を意識的に博物館の視点から再編成した。また、実際に資料整理作業を展示することで、“モノ”が“資料”となっていく過程を伝えるとともに、学芸員と同じ目線で資料を見る機会を作って、資料の価値や面白さを共有した。

開催期間 平成22年12月18日～平成23年2月11日 41日間

「新収蔵品展」・「収蔵品展」の開催

「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、約100点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に、今年度は「港の絵葉書・その他」と題して実施した。絵葉書を中心に近代以降の港の様子を伝える資料を紹介するとともに、市民から見学の要望が高かった菖蒲塚古墳経塚出土品(重要文化財)を展示した。

「新収蔵品展」開催期間 平成23年2月19日～3月6日(14日間)

「収蔵品展」開催期間 平成23年3月19日～(4月10日)(20日間)

地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を開催した。

堀と桜のコンサート(4/10)、夕涼みコンサート(8/1)

みなと・しもまち・川まつり2010(8/22)、新潟みなと水遊記前夜祭(7/16)

みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員向けに提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき(中央区女池地区)・館長バスツアー(阿賀野市・北区)・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 673,302 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要7号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 6,136,848 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 173,770,074 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡(石段、石積み、石庫等)

- 3 付帯事業 463,224 円
来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。
物販等ショップの運営
自動販売機設置

平成22年度歴史博物館入館者数 109,643 人

2 平成23年度事業計画

一般会計事業

121,075,000 円

1 文化事業 18,034,000 円

事務局事業

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。

(1) 主催事業 9,464,000 円

ミニライブコンサート (288,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出し、市役所を訪れた市民に気軽に音楽を楽しんでもらう。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (2,001,000)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図る。

文化講演会 (501,000)

文芸作家らを講師に招き、講演会を開催する。

坂口安吾顕彰事業 (6,674,000)

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(2) 共催・協賛事業 3,351,000 円

共催事業 (3,150,000)

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

・第59回新潟市芸能まつり (2,500,000)

・第43回新潟市美術展 (350,000)

・第25回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

協賛事業 (201,000)

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をする。

(3) 表彰顕彰事業 141,000 円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

(4) 支援助成事業 5,078,000 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限20万円で助成金を交付する。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 103,041,000 円

音楽文化会館管理事業

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成10年度より当財団がその管理を受託している。

平成23年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

ホールの管理

練習室(13室)の管理

1 文化事業(指定管理事業) 436,243,000 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 157,531,000 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努める。

特に、21年度にハイドン没後200年を記念して開始した作曲家ツィクルスを継続し、23年度はハイドン、モーツァルトに続く音楽史上の巨匠ベートーヴェンをテーマに「りゅーとぴあベートーヴェン・ツィクルス」()を開催、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし幅広い聴衆の拡大を図る。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図る。

なお、新潟市などで主催するクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」は、「りゅーとぴあベートーヴェン・ツィクルス」に合わせる形で「ウィーンのベートーヴェン」をテーマとして5月1日～8日に開催されるため、財団も実行委員会に参加し、主催事業と連携を取り併せて広範な集客を図る。

鑑賞事業 (123,837,000)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 65 回 平成 23 年 5 月 22 日(日) ～マーラー：交響曲第 5 番～

第 66 回 7 月 17 日(日) ～モーツァルト：交響曲第 25 番～

第 67 回 9 月 4 日(日) ～ベートーヴェン：交響曲第 9 番～

第 68 回 11 月 6 日(日) ～シベリウス：交響曲第 5 番～

第 69 回 平成 24 年 1 月 15 日(日) ～ベートーヴェン：交響曲第 6 番「田園」～

第 70 回 3 月 25 日(日) ～モーツァルト：ミサ曲「戴冠式ミサ」～

・コンホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～5回公演 平成 23 年 11 月 7 日(月)・8 日(火)

・特割コンサート 平成 23 年 11 月 7 日(月)

・東響定期+

仙台フィルハーモニー管弦楽団

平成 23 年 10 月 16 日(火)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

シリーズ 24 平井千絵 (フォルテ・ピアノ)	平成 23 年 10 月
シリーズ 25 イリーナ・メジューエワ No.1	平成 23 年 12 月 4 日(日)
シリーズ 26 イリーナ・メジューエワ No.2	平成 23 年 12 月 20 日(火)
- 歌の花束シリーズ -	
シリーズ 19 日本の歌手によるコンサート	平成 23 年 11 月
- カルテットシリーズ -	
シリーズ 23 クアルテット・エクセルシオ	平成 23 年 10 月 スタジオA
シリーズ 24 クアルテット・エクセルシオ	平成 23 年 11 月 スタジオA
シリーズ 25 クアルテット・エクセルシオ	平成 23 年 11 月 スタジオA
- オルガンシリーズ -	
・山本真希リサイタルシリーズ No.12	平成 23 年 7 月 15 日(金)
・山本真希リサイタルシリーズ No.13	平成 24 年 2 月
・オルガン・リサイタルシリーズ ロレンツォ・ギエルミ	平成 23 年 9 月 3 日(土)
・オルガン・クリスマスコンサート	平成 23 年 12 月 16 日(金)
・オルガン・オーダーコンサート	随時・通年
- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -	
・りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2012	平成 24 年 3 月
- ホール体験事業 -	
・1 コインコンサート	
Vol.51 「ヴァイオリン」	平成 23 年 4 月 9 日(土)
Vol.52 「ピアノ」	平成 23 年 5 月 27 日(金)
Vol.53 「オルガン」	平成 23 年 6 月 23 日(木)
Vol.54 「マリンバ&パーカッション」	平成 23 年 9 月 7 日(水)
Vol.55 「トリオ・リベルタ」	平成 23 年 10 月 8 日(土)
Vol.56 「声楽」	平成 23 年 12 月 8 日(木)
・プライム・クラシック 1500	
Vol.7 「ピアノ」	平成 23 年 5 月 27 日(金)
Vol.8 「マリンバ&パーカッション」	平成 23 年 9 月 7 日(水)
- その他 -	
茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ No.5	平成 23 年 11 月 19 日(日)
・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」	平成 24 年 1 月 8 日(日)
・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」	平成 24 年 1 月 8 日(日)
育成・普及事業 (33,694,000)	
- オルガン事業 -	

・オルガン普及プログラム

りゅーとびあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース

基礎講座

ジュニアコース

ポジティブオルガン使用の半年コース

一般コース

ポジティブオルガン使用の1年コース

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース

オルガン・サマーデイズ

平成23年8月

ニューイヤー・オルガンスペシャル

平成24年1月

オルガン音楽隊

随時・通年

- ジュニア等育成事業 -

・にいがた東響コーラス

平成23年4月～平成23年9月

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第30回定期演奏会

平成23年9月11日(日)

クリスマス演奏会

平成23年12月23日(金)音文

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第21回定期演奏会

平成23年7月24日(日)

新潟県少年少女合唱団合同演奏会

平成23年8月21日(日)

・ジュニア邦楽教室育成事業

第16回定期演奏会

平成23年7月31日(日)音文

・ジュニア音楽教室第8回スプリングコンサート

平成24年3月31日(土)

- その他 -

・市民音楽講座

通年

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 94,590,000 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指す。また、演劇スタジオ APRICOT、国際児童青少年芸術フェスティバルにより次世代を担う子どもたちの優れた舞台芸術に携わる人材や観客を育む。また、地域の劇団との交流を目的にしながら、更なる演劇活動の振興を図る。

鑑賞事業 (80,161,000)

・二兎社公演「シングル・マザーズ」1回公演

平成23年4月18日(月)

・「ふるまち新潟をどり」2回公演

平成23年6月19日(日)

・「淋しいのはお前だけじゃない」1回公演

平成23年7月9日(土)

・「血の婚礼」(共催：キョードー北陸) 3回公演	平成23年8月6日(土)・7日(日)
・「現代能楽集」 1回公演	平成23年9月上旬
・「文楽公演」 2回公演	平成23年10月3日(月)
・「春風亭小朝独演会」 1回公演	平成23年10月中旬
・「The Hunting Gun～猟銃」	平成23年11月6日(日)
・音楽劇「ピアフ」	平成23年11月中旬
・「90ミニッツ」	平成24年2月3日(金)～5日(日)
・りゅーとぴあ能楽堂大衆芸能シリーズ(落語版)	平成24年2月

育成・普及事業 (14,429,000)

・「国際児童青少年芸術フェスティバル TACT/FEST」 6回公演	平成23年7月29日(金)～31日(日)
・演劇スタジオキッズコース APRICOT	通年(発表公演：夏季/春季)
・「第2回芸術のミナト 演劇祭」	平成24年3月中旬

(3) 能楽事業 29,108,000 円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催する。また、お囃子や狂言のワークショップの開催により子どもたちへの能楽普及を図る。

鑑賞事業 (24,992,000)

・春の能楽鑑賞会(観世流) 2回公演	平成23年4月9日(土)
・秋の能楽鑑賞会(宝生流) 2回公演	平成23年10月22日(土)
・「茂山狂言公演」 2回公演	平成23年7月16日(土)・17日(日)
・「野村万作・萬斎古典狂言公演」 2回公演	平成23年11月13日(日)
・能楽基礎講座特別版スペシャル公演「影媛」 1回公演	平成24年1月21日(土)

育成・普及事業 (4,116,000)

・能楽基礎講座特別版(馬場講座) 3回	平成23年5月21日(土)、9月3日(土)、12月11日(日)
・能楽基礎講座(山崎講座) 1回	平成23年10月
・観世流能楽鑑賞教室(共催事業) 1回公演	平成23年9月
・能楽ワークショップ(囃子・狂言)	平成23年6月・平成24年1月
・「さわってみよう能の世界」 1回公演	平成24年3月

(4) 新潟発創造事業 106,705,000 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信する。

平成23年度は、りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズで、新しい作品を製作上演する。

また、レジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismは外部振付家招聘企画第4弾として、2組のゲスト振付家による新作と、芸術監督・金森穰振付レパートリーからの3作品による新作公演「OTHERLAND」を実施。新潟での初演後、滋賀県でも公演を行う。また、前年度に新潟限定公演として初演し、好評を博したNoism1とNoism2による合同公演、劇的舞踊「ホフマン物語」の再演を予定。研修生カンパニーNoism2は春の定期公演のほか、レパートリー作品を持って市内・県内の学校や各地域のホールでの幅広い活動を展開する。

- ・りゅーとぴあ 能楽堂シェイクスピアシリーズ 新作公演 平成 23 年 9 月
- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism
外部振付家招聘企画第 4 弾 「OTHERLAND」
平成 23 年 5 月 27 日(金)～29 日(日)
- Noism1 & Noism2 合同公演 劇的舞踊「ホフマン物語」再演
平成 23 年 12 月 17 日(土)・18 日(日)
- Noism2 春の定期公演 2012 平成 24 年 2 月 24 日(金)～26 日(日)

- (5) 共催事業 495,000 円
芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。
- ・第 59 回新潟市芸能まつり 平成 23 年 10 月～11 月音文ほか
 - ・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 平成 24 年 1 月
- (6) 広報営業事業 25,139,000 円
公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、事業ごとの企業協賛募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図る。
また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図る。
- ・広報・営業事業
 - ・音楽広報事業
 - ・演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 1,030,000 円
次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査する。
- (8) 事業企画諸費 11,634,000 円
音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言してもらい、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施する。また、専属オルガニストを引き続き設置する。
- ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
 - ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 10,011,000 円
事業実施に係る管理諸経費（託児サービス、チケットシステム、コピー代、研修、郵便料金他）。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 594,716,000 円

市民芸術文化会館管理事業

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 23 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

3 付帯事業 41,702,000 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 195,697,000 円

1 文化事業(指定管理事業) 24,181,000 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 32,000 円

常設展示室にある情報機器の消耗資材を交換する。

(2) 企画展示事業 13,267,000 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催するとともに平成24年度開催予定の企画展示の準備業務を行う。

(仮称)「新潟美人」 (2,591,000)

開催期間 平成23年4月23日～6月19日 51日間

新潟美人という呼称が確立し、広く流布されていく状況を示すとともに、その言葉の背景にある新潟の女性の職業や社会的な状況をひも解く。

「発掘された日本列島2011」 (6,944,000)

開催期間 平成23年8月9日～9月11日 30日間

文化庁主催の全国巡回展「発掘された日本列島」を招致し、あわせて地域の考古資料を展示する。

(仮称)むかしのくらし展「着るもの大図鑑」 (1,811,000)

開催期間 平成23年9月23日～12月18日 73日間

小学校の単元と連動した展覧会。衣類と衣に関わる道具の移り変わりわかりやすく展示し、衣類から見た昔と今の暮らしの違いを提示する。学校団体と観覧者の懐旧に対応する。

(仮称)「活動展示2011」 (885,000)

開催期間 平成24年1月7日～2月12日 31日間

調査・研究、資料保存、普及活動など、みなとびあのような様々な活動を展示紹介する。

その他 (1,036,000)

平成24年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

(3) 教育普及事業 913,000 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を購入する。

体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を

持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座や大学生の実習受入れを行う。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

・博物館講座	年9回
・夏休みこどもたいけん講座	年2回
・民具講座	全3回
・たいけん講座	全2回
・館長講座	全4回

ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。また新規にボランティアとして活動したいと希望する人々の養成を行う。

(4) 施設普及事業 2,881,000円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

収蔵品展・新収蔵品展の開催

開催期間 平成24年2月25日～4月1日

展示機会の少ない館収蔵資料をテーマを設けて紹介し、あわせて、23年度に新たに収集したり、保管するようになった資料を紹介する。

地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きを開催する。

(5) 調査研究事業 910,000円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。23年度は、当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」についての調査を重点的に行う。また、テーマ研究や新潟市の歴史文化に関する学芸員の専門的な成果を、市民に報告・還元し、広く評価を受けるため、研究紀要を刊行する。

- (6) 資料整理事業 6,178,000 円
 寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。
- 保存環境管理
 歴史資料を長期保存するための環境整備。博物館収蔵庫、石庫、旧木場小学校、旧太郎代小学校敷地等に所蔵する資料が、少しでもよりよい状況で保存できるように収蔵施設及び展示設備の環境改善に努める。また、市内のほかの収蔵施設と協力する。
- 資料収集整理
 地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理するための基礎的データや資料活用するための詳細情報を調査・記録そしてデータベース化するとともに、資料の養生を行う。
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 170,772,000 円
- 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業
 市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行う。
- (1) 歴史博物館管理事業
 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)
 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)
 屋外施設(広場、堀、園路等)
- (2) 旧新潟税関庁舎等管理事業
 旧新潟税関庁舎
 史跡(石段、石積み、石庫等)
- 3 付帯事業 744,000 円
 来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。
- 物販等ショップの運営
 自動販売機設置

1 文化事業(指定管理事業) 1,007,000 円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。」という小澤家住宅の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 常設展示事業

みなとまち新潟の歴史・生活文化について、グラフィックパネル等で紹介する。

(2) 企画展示事業 351,000 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催するとともに平成24年度開催予定の企画展示の準備業務を行う。

「新潟商家の屏風」展

開催期間 平成23年7月3日～7月10日

開館イベントとして、小澤家をはじめ、博物館所蔵の商家の屏風を展示する。

「湊祭りと盆踊り」展

開催期間 平成23年8月6日～8月21日

博物館所蔵のあまのてぶりや祭りに関する額、絵葉書、写真等を展示する。

「新潟の刃物 清宗と助直」展

開催期間 平成23年9月3日～9月19日

博物館所蔵資料を展示し、下町の職人の技術を紹介する。

「新潟漆器の世界」展

開催期間 平成23年10月15日～11月13日

新潟漆器組合の協力のもと、新潟漆器の数々を展示する。

「回船のあきない」展

開催期間 平成23年12月17日～平成24年1月15日

小澤家文書から回船による商いの様子を紹介する。

「卒業写真」展

開催期間 平成24年2月18日～3月11日

博物館所蔵の明治期以来の卒業写真を展示する。

(3) 教育普及事業 185,000 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

体験学習事業

創作体験、ワークショップ、語りを聞く会、町めぐりなど、地域の歴史や伝統を実感できる各種プログラムを、土・日・祝日を中心に月1回の目安で開催する。

博・学連携事業

博物館連携しながら小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行う。

講座・講演会事業

新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座・講演会を開催する。

・書画取扱講座	年2回
・旧小澤家住宅を知る講座	年3回
・古文書講読講座	全8回
・講演会	全3回

ボランティア事業

市民を対象に本施設で活動するボランティアを募集し、一定の研修を実施したのち、常設展示解説ガイド、建物解説ガイド、体験活動のスタッフとして活躍するボランティアを新規養成する。また、新潟シティガイドとの連携をはかり、本施設並びに周辺地区の魅力を発信・紹介する。

- (4) 施設普及事業 295,000 円
博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うなど、本施設の利用推進を図る。
- (5) 調査研究事業 59,000 円
市民の関心を呼び起こすテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。テーマ研究や新潟市の歴史文化に関する学芸員の専門的な成果は、開催を予定している企画展示や講座などで市民に報告・還元する。
- (6) 収蔵資料の保存管理事業 59,000 円
旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。
保存環境管理
歴史資料を長期保存するための環境整備。本施設家財蔵等に所蔵する資料が少しでもよりよい状態で保存できるように収蔵施設及び展示設備の環境改善に努める。
- (7) その他事業費 58,000 円
地域交流事業
地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 31,370,000 円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等)の管理運営を行う。

3 付帯事業 10,000 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍等を扱ったショップの運営を行う。

物販等ショップの運営